

高速道路開通に向けた懇談会（要旨）

- 日 時 平成 24 年 6 月 25 日（月） 10:00～11:15
○場 所 村上市教育情報センター 2階 会議室 A・B
○出席者 別紙のとおり

1. 開 会（司会進行：斎藤政策推進課長）

2. 市長挨拶

私たちが長年要望してまいりました日本海沿岸東北自動車道につきましては、1月に計画段階評価を終了し、またBルートに決定し、今後早期開通に向けた諸手続の準備作業が開始されようとしています。

私たちが鶴岡市と連携し、1月から積極的に国、県に要望活動を行ってきているところですが、要望活動を通して、思いのほか早く道路の整備が進んでいくのではないかと感じています。国、県の動きに遅れることなく、村上市として機敏な対応をとっていかねばならないと考え、みなさんからのご意見をお聞きしながら取り組んでいかねばならないということでお集まりいただきました。

全線開通により通過都市とならないよう、ご意見を拝聴しながら市としての対応を考え、そして国、県に要望していきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

3. 出席者紹介（司会より出席者を紹介）

4. 説 明

（1）これまでの経緯・現状等について（説明者：船山都市整備課長）

説明資料1及び説明資料1の補足資料をもとに説明

【質疑応答】

出席者； 現在環境アセスメントの段階に入っているとのことですが、当地域で特に注目されるものとしては、どのようなものが予想されるのでしょうか。

また、都市計画の決定準備とありますが、どの辺りをこれから検討していくのでしょうか。

都市整備課長； 環境アセスメントで特に注意すべき点については、国土交通省の担

当者の話では、希少価値の高い猛禽類がこの地域では存在するという
ことで、その点はきちんと調査をすべきであろうということでした。

また、この都市計画決定とは、都市計画の法律の中でこれから道路が通
る区域を定めるものです。

出席者； 期成同盟会の組織についてですが、東日本大震災を踏まえ東京への一極
集中を解消しようということで、いろいろな動きがあるようです。首都直
下型地震の件もあって都市機能の分散を図っており、新潟の拠点性も上が
ってくるのではないかと思います。連携するに当たっては、新潟の拠点性
を活かすという考え方に立って連携の輪を広げる必要があると思いますが、
市の考えについて教えてください。

市長； 私たちも、事あるごとにそのような話をさせていただいています。2014
年問題も含め、今後どうあるべきかについての研究会もあり、また羽越線
高速化等もあります。それらを通じて、新潟市以北をどのように発展させ
ていくべきかという意見交換を積極的に行っているところです。

(2) 今後の進め方について（説明者：鈴木副市長）

説明資料 2をもとに説明

5. 懇 談

出席者； 今後の進め方の①、②については異議ありません。山北地区には笹川流
れという景勝地がありますが、寒川から蒲萄までの県道山北朝日線につい
ても有効活用できるような施策を講じていただき、また、笹川流れがある
ということの周知ができるような方策をとっていただきたいと思います。

市長； 村上瀬波温泉インターチェンジについては、温泉という名前がついたの
は日本で初めてのことです。名勝地である笹川流れについても重要視して
おり、案内看板の設置等、遺憾のないよう取り組んでいかなければならな
いと考えています。また、県道山北朝日線の改良を促進し、国道 345 号に
ついては整備していかなければならないと考えています。

出席者； 今後の進め方の「①朝日みどりの里を有効活用できる道路整備」につい
ては、これまで朝日地区の区長会でも地域全体の活性化ということで話し
合いを行ってきました。昨年 3 月の震災後、トイレもあり休憩できる場所
であるため、救援隊の車両などで一杯になるほどでした。インターチェン

ジからも近いですが、道路を整備していただければ、万一の際の拠点になるのではないかと、また地域の活性化につながるのではないかと考えており、要望活動を行っていきたいと考えています。

市長； 高速道路が朝日みどりの里から離れたところに行ってしまうということは避けなければなりません。何らかのかたちで、アクセスできるような整備をお願いしているところです。

それと同時に、神林の道の駅等も全線開通に伴いどうあるべきかについて、みなさんのご意見を聞きながら国、県と協議していきたいと考えています。

出席者； 地域の活性化のために、みどりの里をサービスエリア化すること、またアクセス道路をつなぐことは当然であると思っておりますし、みどりの里を盛り上げていくような施策を講じるようご協力をお願いしたいと思っております。みどりの里は、必ず活性化し、すばらしい施設になると思っておりますので、区長さん、当局のご協力をお願いします。

市長； 市費を投じることは非常に困難であり、国費で行っていただきたいという要望であります。

出席者； 命の道ということから、府屋にもインターチェンジをつけてもらうべきだとの意見が届いています。また、海が近く、名勝笹川流れや瀬波温泉もあります。海の見えるところはほとんどないわけですし、先ほどみどりの里のトイレの話もありましたが、高速道路には豊栄パーキングまでトイレがないわけですので、みどりの里のほかにもう1か所ほしいですし、サービスエリアも必要だと思えます。巨大なものでもなく、せめて地場産品を並べる道の駅のようなものでもよいし、それが無理ならアンテナショップ的なものでもよいので、ぜひ海の幸、山の幸を紹介していきたいと考えています。

市長； 私も府屋地域にインターチェンジを設けるべきだと考えており、十分に可能性があると思っております。

サービスエリア等については、非常に難しいと考えています。やるとすれば、国から土地を借りて地域のみなさんが力を合わせてやっていくという方法も考えられます。

お話のあったように、豊栄からトイレがないことから、荒川でもいろいろと考えているようです。全線がつながった場合には、それぞれの地域で特色ある計画を立て、自分たちの力でやっていくということになっていければ最高だと思っております。よいアイデアを出していただいて、やってい

きたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

出席者； 地域活性化が大事ですので、まほろばの件、神林の道の駅の件を国土交通省に大いに要望していただき、実現されるようお願いします。

胎内荒川インターチェンジから村上方面に向かって行くと左右に広場があります。そこで今工事をしていますが、何か予定されているのですか。

都市整備課長； 工事の担当は羽越河川国道事務所で、防風柵とバスストップの工事を行っているものです。今年で何とか終わると聞いています。

出席者； トイレがまほろばまで全くないので、その間のトイレについて要望しているのでしょうか。

都市整備課長； そういうお話はあちこちから出ております。国土交通省の担当者の話では、基本的に有料道路ではないことから降りれば足りること、また費用対効果で極力経費を節減して行っている工事であることから、トイレは難しいということです。しかし、実際にはそういう苦情もきておりますので、市では要望をしているところです。

出席者； こちらに来られるお客様のニーズに応えるため、気配りも大事だと思いますので、強く国土交通省に要望していただきたいと思います。

市長； 基本的にこの路線は無料区間であり、できれば地域のみなさんが力を合わせて、降りていただくような地域づくりをしていただき、買い物をしたりしていただくような地域の活性化を、地域のみなさんでつくり上げていただきたいというのが、国土交通省の見解であると思っています。

出席者； 高速道路には期待していますし、関東方面からの利便性は非常に上がっています。先般行われた県境の期成同盟会の役員会で温海の観光協会長も秋田方面からの観光客の入込が非常に増えていると言っていました。高速道路がつながるということは、いかに村上地域を魅力のある地域にしていくなかということが非常に重要になっていくと感じています。この間がつながると、村上に用のない人は素通りしてしまいます。いかにして村上地域に降りて散策していただき、また用事を足していただくための方策を早めに市としても検討していく必要があると思います。第2次総合計画でも、交流人口の拡大に向けた魅力ある村上市をつくっていくということをはっきりと謳っていくことが必要だと思います。

また、村上地域に降りて周遊していただくことを考えると、高速道路開通に合わせて、国道345号を大型自動車が規制なく通れるように行政として取り組んでいただきたいと思います。村上瀬波温泉インターチェンジで降りて、笹川流れをまわり、山北地区のインターチェンジから上っていく

というルートもできます。

市長； 国道 345 号も着実に工事が進んでいます。懸案となっていた旭橋等についても工事が進んでおり、山北の鵜泊地内においても工事に着手するという事で、大型規制の解除も目の前ではないかと思っています。ネットワークができるように、しっかり対応していきたいと考えています。

出席者； 神林にとって、道の駅はなくてはならないものですので、市道桃川牧目線を早く完成させていただきたいと思います。そしてトイレ休憩に降りていただきたいと思います。それと同時に、先ほどお話があったように、村上に下りて温泉をまわったり、国道 345 号を通過していただいたり、地域一体となった活性化につながると思います。今のままでは、神林が通過点にしかならないことから、道の駅に寄っていただけるように早い完成をお願いします。

市長； 計画的に道路整備を進めていきます。魅力ある道の駅あるいは地域をつくるにはどうすればよいか、切磋琢磨する時代に入ったと捉えていく必要があるのではないかと思いますので、市としても、それぞれの地域の応援をしていきたいと考えています。

出席者； 地域経済が疲弊し、雇用も大変な状況にある中で、このような大きなプロジェクトは大変ありがたいものです。なるべく地元の企業が仕事に携わることができるような発注について、国、県に要望していただきたいと思います。

市長； この区間は約 36 km で、事業費が約 2,000 億円とされています。地域にとっても、建設業にとっても非常に魅力のある事業ですので、地元の建設業者、商工業者等に恩恵のある工事の施工をしていただきたいとお願いしています。

出席者； 説明資料 2 の「今後の進め方について」の中に、魅力ある地域づくりの推進を加えていただきたいと思います。市民協働のまちづくりが始まり、これをしっかりと進めて魅力ある地域ができれば、通過点にはならないと考えます。

市長； 非常に大切なことだと思っています。十分検討させていただきたいと思っています。

出席者； 神林道の駅にも直売所がありますが、村上瀬波温泉 IC が開通したら売り上げが減少しました。高速道路が開通したら、それを有効活用して地域全体が活性化することを望んでおり、一部の道の駅が減少したりすることの

ないようお願いします。人口が減少している中で、地域経済を活性化するためには、市外から来てもらわなければなりません。アクセスについても早期に解消していただかないと、地域全体の活性化は難しいと思います。

今6次産業化に取り組んでいます。新たな特産品を生むチャンスが高速道路開通に向けて取り組んでいくことだと思います。その点についても市からの協力をお願いしたいと思います。

市長； そのためにも、魅力ある商品、魅力ある地域をつくっていかねばならないと痛切に感じています。

鼠ヶ関に「しゃりん」という建物があります。非常に混んでいますが、高速道路開通により、どうしていくかについて真剣に取り組を強化しています。同じように、みなさんと一緒になって取り組んでいきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

6. 閉 会（挨拶：鈴木副市長）

お忙しい中、お集まりいただき大変ありがとうございました。高速道路も早い段階で動きが出てくるということで、それに先んじてこの懇談会を開催させていただきました。今後整理しながら、しっかりとした組織をつくっていきたいと考えています。本日は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。